

久留米市鳥類センター

Poppo

ポッポ



ドバト

しょうびょうやせいちょうじゅうほご

特集 傷病野生鳥獣保護って？

傷ついた動物の保護とその後 Q&A

Q & A

～野生動物のふしぎ～

- Q. どの動物園でも傷ついた野生動物の保護はしていますか？
- A. 全ての動物園が行っているわけではありません。鳥類センターのように福岡県の依頼を受けて行っているところもあれば、行っていない所もあります。
- Q. 野生の鳥や動物をつかまえてもいいの？
- A. ケガをして保護が必要な場合以外は、野生の動物はつかまえる事が出来ません。ペットとして飼ったり食べる為に捕まえたりするには許可が必要です。野鳥や野生動物を大切にしましょう。

●バックナンバー● ご希望の方は鳥類センターまで

No.1 タンチョウ



No.2 動物園



No.3 フクロウ



No.4 クジャク



財団法人久留米市都市公園管理センター久留米市鳥類センター

〒830-0003 福岡県久留米市東櫛原町中央公園内

TEL 0942(33)2895 FAX 0942(33)2896

休園日 毎月第2月曜日(祝日の場合は翌日)年末年始(12月29日～1月1日)

ホームページ

鳥類センター

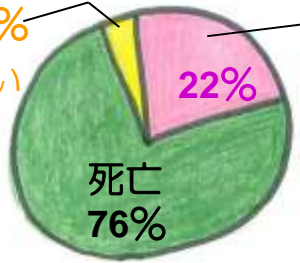
検索



傷ついた動物の保護とその後

飼育中 2%

骨折などで飛べない野鳥や自然に戻れなくなった動物は飼育し、世話をしています。



放鳥 (獣)

元気になった動物は自然に戻します。



野生の動物が人間に保護されるということは、すでに弱っている証拠。約76%が保護の甲斐なく死亡しています。

野鳥のヒナをみつけたら・・・



なるべく**巣にもどす**か**そのままにして**下さい。

ヒナは巣立ちの練習中が多く、近くで親鳥が見ている事があります。可愛そうだからと**保護してしまうと親から引き離す**ことになります。野良猫・車などが心配な場合は、木の上などの安全な場所においてあげましょう。また**人間が近くに**いると親鳥はヒナに**近づけません**。遠くから見守るか、その場を離れましょう。



ヒナを保護して育てたとしても、何が「**食べ物**」で何が「**危険か**」を教えることはできません。また人間に育てられたヒナは大人になっても**人間を怖がら**なくなります。ヒナは、生きていく為の大切な事を**親鳥から学ぶ**のです。



特集動物 しょうびょうやせいちょうじゅうほこ 傷病野生鳥獣保護って？

鳥類センターには野生動物や野鳥の保護依頼が、年間約300件あります。保護した動物達は治療し自然に戻しますがほとんど動物は死んでしまうのが現状です。



医療所の看板

傷病野生鳥獣保護とは、傷ついた野生の鳥や動物を保護することです。全国にはこのような野生動物を保護する施設があり鳥類センターでも福岡県の依頼をうけて傷ついた野生動物の保護を行っています。

傷病野生鳥獣保護

【 保護されてくる野鳥・動物たち 】

1位 スズメ



年間保護数 約100羽

2位 ハト



年間保護数 約70羽

3位 ツバメ



年間保護数 約60羽

1～3位の70%はヒナの保護。春の子育て時期には沢山のヒナたちが保護されてきます。

その他



たぬき



フクロウ



ヒヨドリ



カササギ



サギ

など

ご注意

保護は**野生動物に限ります**。犬・猫・ウサギ・ハムスター・鶏・インコ・アヒルなどのペット類は、**一切引き取っていません**。迷子の犬猫は保健所へ、ペット類を拾った場合は拾得物（落し物）となりますので警察へ届けましょう。